

大通防災だより

第19号

『心の防災』： ころろ強い味方を増やす

近年 災害が多発している我が国ですが、自分や家族の命を守ることを第一に考え いざという時にころろ強い味方を増やすことをお勧めします。

まず 災害が起こった時のことを想定して家族と話し合しましょう。避難場所や連絡方法、食糧、飲料水、非常持ち出し品などの準備や分担などをできるだけ詳しく話し合しましょう。結果、お互い一番ころろ強い味方になるでしょう。

次に ころろに余裕がある人は、周りの困っている人に手を貸してあげてください。避難所ではみんなころろの余裕をなくしています。そんな時は顔見知りの人が多いところ強いものです。日頃から地域の行事などに積極的に参加することは 地域の役に立てるばかりではなく顔見知りを増やす絶好に機会ではないでしょうか。

また 遠くの親戚や友人もころろ強い味方です。喉から手が出るほど欲しいものを届けてくれるかもしれません。周りの人達からは羨ましがられるかもしれませんが、「日頃の人付き合いがよい人は人付き合いが少ない人と比べ優遇される。」とは 避難所経験者のお話です。

そして 避難所に支援物資を届け続けた人は「雰囲気の良い避難所や 人当たりのよいまとめ役の所へはまた物資を届けたくなる。」と話しています。

これらは 実際の災害現場での意見、感想です。真摯に受け止めて できることならこれからでも取り組んでみてはいかかでしょうか。

力を合わせて



助け合う



心をひとつに



『大通防災だより』は
新潟市「地域活動補助事業」を
活用して発行しています。



発行
大通地域生活センター内
大通コミュニティ自主防災会
TEL 362-1491

我が家の 防災危険度チェック！

昨年の熊本地震をはじめ 日本中のあちこちで大・小の地震が発生しているにもかかわらず、よそ事のように過ごしていませんか？。いまや いつどこで大地震が起きても不思議ではないなかで 備えができていないのでは 自分や家族の命の危険度に大きな差が生じます。

簡単な危険度チェックをしてみましょう。

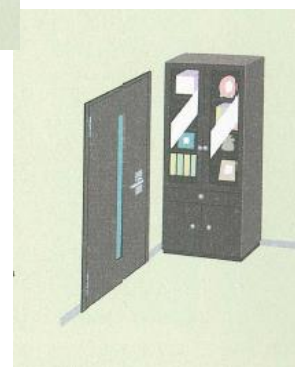
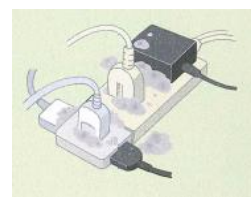
キッチン

- 食器棚のガラスに飛散防止のフィルムを貼っていない。
- 食器棚の棚板に滑り止めのシートを敷いていない。
- 食器棚に耐震ラッチやストッパーを付けていない。
- 刃物、ガラスのコップなどが出しっぱなしだ。
- 不安定な台に炊飯器、電子レンジを載せている。
- 棚の扉を開けると 物が落ちてくる。
- 冷蔵庫を転倒防止器具で固定していない。



リビング

- テレビを固定していない。
- 本棚など、背の高い家具を固定していない。
- 家具のキャスターを固定していない。
- 家具が倒れたら 出入り口が塞がるレイアウト(配置)だ。
- タコ足配線に埃が溜まっている。



廊下

- 廊下に物があり 通りにくい。
- 出入り口を塞ぐおそれのあるものが 廊下にある。



その他

- 水や非常時の食糧を定期的にチェックしていない。
- 非常袋の懐中電灯やラジオは 電池を入れたまま。
- 通帳や重要書類が 家の中に点在している。
- 家族で 災害時の行動を話し合ったことがない。



いざという時のために…。 防災資器材の点検！

自主防災会スタッフは いざという時の使用に備えて、防災資器材の点検を行いました。せっかく購入したが 扱い方も知らずにいざという時役に立つのか？ そんな当たり前の問題に取り組んでいます。また 各自治会内の危険箇所を調べてまわり、それぞれの自治会へ報告し改善を求めています。自治会防災でもっとも重要な問題、要援護者支援の取り組みについて聞き取り調査から始めて 様々な対策研究に取り組んでいます。



【防災倉庫点検の様子】

今年度のみで終わる課題ではなく、継続して取り組むものです。少しずつですが、着実に成果をあげていきたいと思っています。

大通コミュニティ自主防災会
会長 渡辺 清